

トキ野生復帰ロードマップ2025の概要

【位置付け】

種の保存法に基づく「トキ保護増殖事業」の2021～2025年度の行程表

【現状と課題】

- ・2008年に放鳥開始、2021年6月までに24回で415羽を放鳥
- ・2012年に繁殖成功、2016年に野生下生まれペアが繁殖成功、2019年に野生絶滅から絶滅危惧IA類に変更
- ・2021年3月現在、飼育下で約170羽、野生下で推定約430羽
- ・遺伝的多様性確保、地域住民との軋轢（稲踏み、騒音等）、将来的な採餌環境維持、本州等での環境整備が課題



【目標】

最終目標 トキが自然状態で安定的に存続（成熟個体1000羽以上、複数の地域個体群、遺伝的交流、過密にならない）

中長期的目標(～2035年頃) 【佐渡島】トキが過密にならず、遺伝的多様性を維持しながら存続

【本州等】トキが定着し、繁殖成功

短期的目標(～2025年)

【佐渡島】トキが過密にならず、遺伝的多様性を維持しながら個体数の増加傾向を維持

【本州等】トキの生息に適した環境の保全・再生や社会環境整備の取組を進める

トキの野生復帰

飼育・繁殖・訓練・放鳥

- 【センター・分散飼育施設】
- ・計画的な飼育・繁殖※200羽程度
 - ・生理生態等の情報収集

- 【佐渡島】
- ・訓練・放鳥を実施※年30羽程度
 - ※ハードリリース・ソフトリリース併用
 - ※R4を目途にハードリリース技術を確立

- 【本州等】
- ・飛来トキ繁殖時緊急放鳥の検討
 - ・放鳥の可能性、要件等の検討

生息環境の保全・再生

- 【佐渡島】
- ・生息環境の保全・再生への協力
 - ・天敵対策
 - ・生息環境への配慮要請

- 【本州等】
- ・トキ受入れに意欲的な地域を中心に生息環境整備の可能性を検討
 - ・生息環境の保全・再生への協力

普及啓発等

- 【佐渡島】
- ・普及啓発・情報発信・環境教育
 - ・佐渡観光でのトキの適切な活用
 - ・分散飼育施設での一般公開
 - ・地域の合意形成、情報共有等

- 【本州等】
- ・分散飼育施設での一般公開
 - ・社会環境整備への協力
 - ・積極的な情報発信

モニタリング

- 【佐渡島】
- ・モニタリング実施
 - ・結果分析・フィードバック
 - ・野生下ヒナ足環装着※年30羽
 - ・広域的モニタリング手法検討

- 【本州等】
- ・情報収集体制の構築・運用

※青文字は方針を変更する取組、赤文字は新たな取組、その他の箇所は従来の方針で継続・拡充する取組